

はじめに

兵庫県教育委員会では、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、全国からいただいた多くのご支援に報いるため、平成12(2000)年4月、被災した学校を教職員が支援する全国初めての組織である震災・学校支援チーム(EARTH=Emergency And Rescue Team by school staff in Hyogo)を設立しました。

以降、EARTH員は、震災で培った経験や防災についての専門的知識を活かし、国内外の被災地における学校教育活動の早期再開や児童生徒の心のケア等の支援に取り組んできました。

当ハンドブックは、大規模災害からの学校教育活動の早期再開に向けたノウハウを整理するとともに、EARTH員の活動に資するため、平成18(2006)年3月に発行しました。

阪神・淡路大震災から21年が経過し、震災の記憶とともに経験や教訓の風化が懸念される中、EARTH員の世代交代も進んでいます。このような中、関係者のご協力を得て、①阪神・淡路大震災での貴重な教訓や経験豊富なEARTH員のノウハウの継承、②東日本大震災等の支援活動で得られた課題等の整理、③地震以外の風水害や土砂災害への対応等の観点から、本書を改訂しました。

今後も引き続き、EARTH員をはじめとする学校関係者の皆さんが本書を有効に活用し、被災地の学校への支援活動や地域の防災拠点である学校の防災体制の充実に積極的に取り組み、「兵庫の防災教育」のさらなる充実が図られることを願っています。

平成28年3月

震災・学校支援チーム(EARTH)運営委員会
会長 高井 芳朗